

絵手紙をかいてみよう

上手にかかなくてもよいのが絵手紙です。絵手紙に失敗ということはありません。すべてぶっつけ本番です。心を込めて相手のことを思って、身近にあるものをよく視てかきましょう。

準備するもの

- ① 顔彩がんさい（日本画の絵の具）ないときは水彩絵の具でも OK
- ② 梅皿うめざら パレットでも OK
- ③ 筆洗い
- ④ 筆（線書き用と彩色用）
- ⑤ 墨と硯すずり
- ⑥ ティッシュか布
- ⑦ 絵手紙用のはがき 一般のはがきでも OK
- ⑧ 名前のゴム印と印泥いんでい（朱肉）
- ⑨ 半紙



かき始める前に

1 墨をすります。(青墨がよい)



2 筆に墨をつけます。



4 筆の持ち方は、筆の上の方を持って垂直に立てて使います。



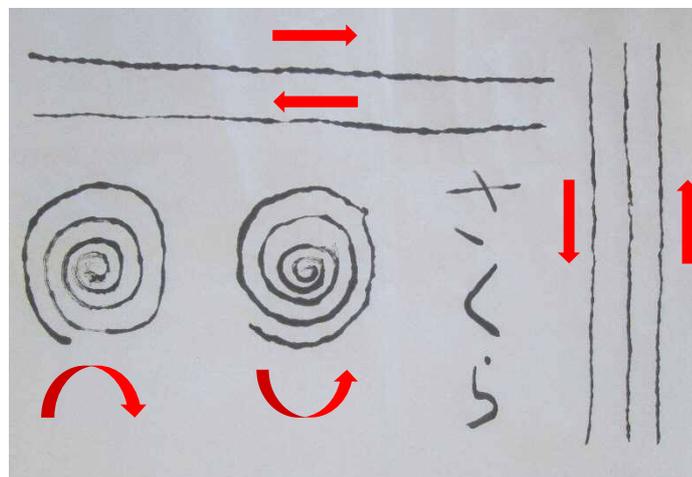
筆を垂直に立てるのは、
気持ちを筆先に集中する
ためです。



3 ティッシュや布などで墨の量を調整して
筆先を整えます。



5 半紙で線を引く練習をします。線は縦、横、
渦巻き、名前などゆっくりとかきます。



(矢印の向きに線を引きます)

今回はピーマンをかきます

1 絵はヘタの部分から線をかき始め、はがきからはみ出るように大きくかきます。



2 彩色用の筆に水をつけて、顔彩を梅皿にとり、色の濃淡を水で調整します。



3 色つけは、うすい色からトントンとぬりはじめます。



4 色のぬり残しの白い部分があるくらいがよく、次に濃いめの色で仕上げます。



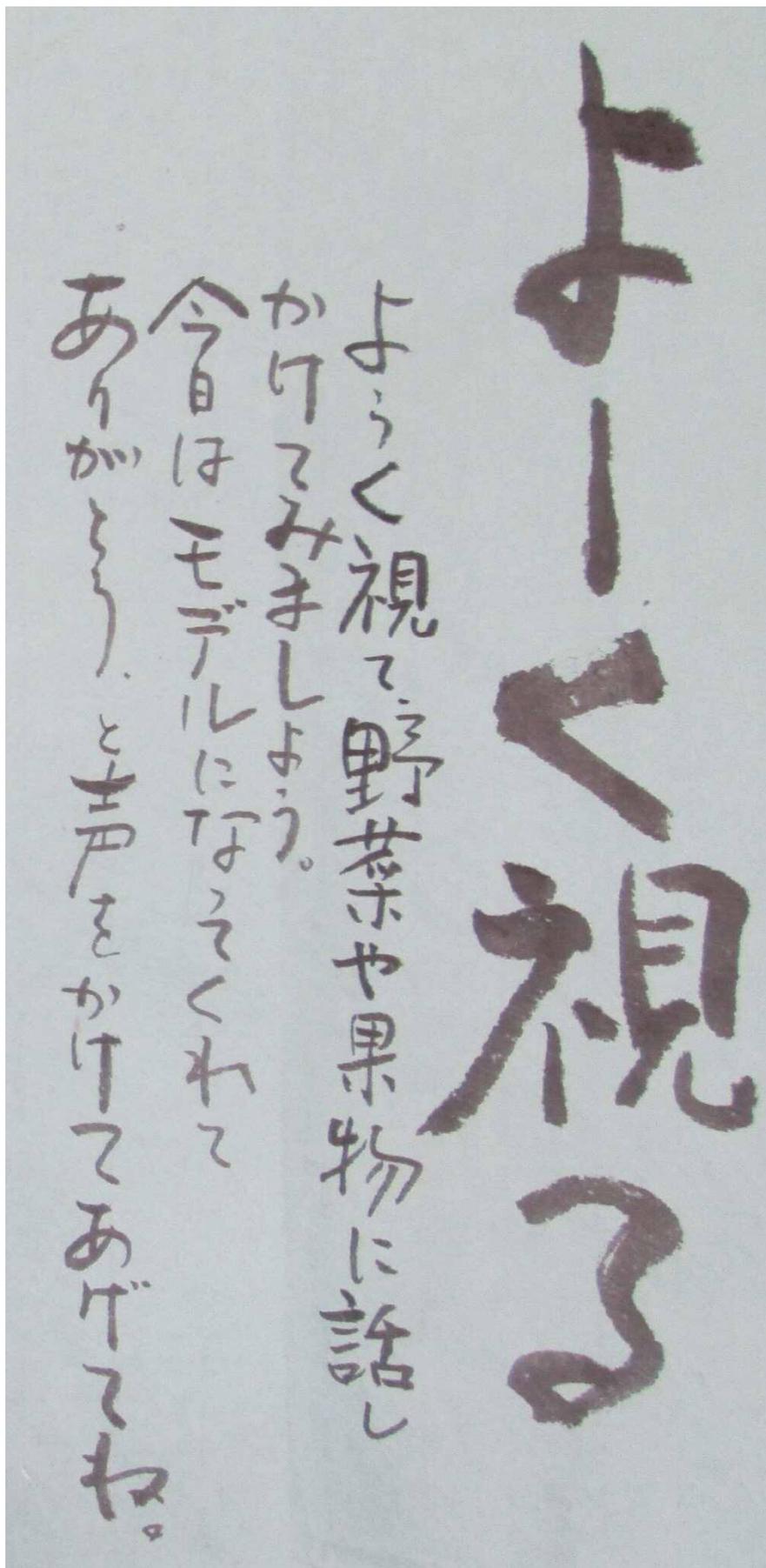
5 相手のことを思って、大きな文字でことばをかきます。



6 消しゴムで作った名前のゴム印を押して完成です。

手作りのゴム印です。
私がかきましたの
しるしです。





最後に、今回ご協力をいただきました『さくら絵手紙クラブ』の皆様作品と先生の教え方をご紹介します。

電子メールやSNSが盛んな現代社会ですが、たまには家で大切な人に絵手紙をかいてみてはいかがでしょうか♪



やっくらがく

大ききくかく

絵手紙を誰に出すかを決めて下さい。
手紙でするので送る相手がいる。その人の
ことを思いまじを込めてかきなさいよう。
上手にかかなくてもよいです。一生懸命
心を込めてかけばそれでいいのです。

ハガキからはみ出すように大ききく
送った相手がびっくりするようには
大ききくかきなさいよう。

気持をさっさとめぐる

「ヘタでいいヘタがいい」という考え方は、
上手にかこうと思わず、たった一人の
大事な人に向けて心を込めて一生懸命
かくのがです。

色ぬりは元氣よく

色は油漑せるとにじんでしまふので気を

つけておしようにパレットの中で色をいまじ
ませてもらって、ハガキに直接つけるのでは「よく
ティッシュにつけて、色を確かめるといいですわ。
とんとんとん……たんたん……とんええよく。

言葉葉はやっかん

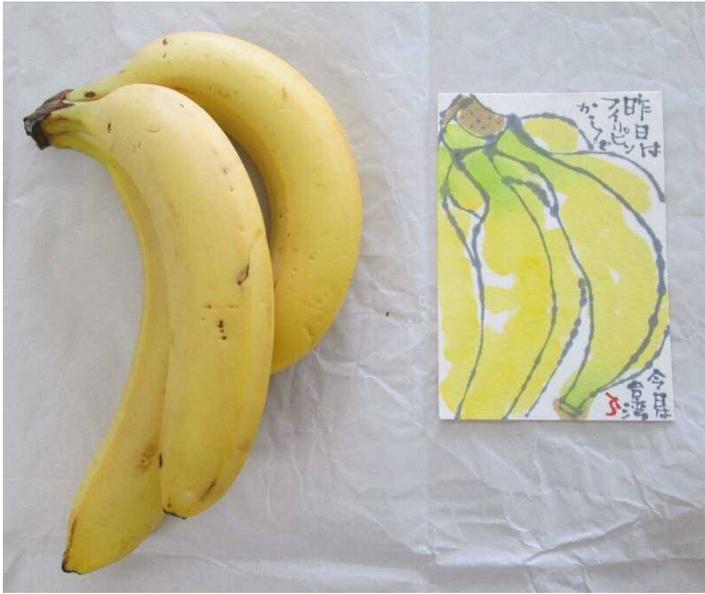
曲けた言葉葉がつかんだ人は言葉葉が
 逃げていかばいっせいに書自さなましよう。
 線の練習習したときと同じようにびるひめた
 一文字一文字で言葉葉にして下さる。
 言葉葉はたくさんかかなくともいいですよ。

名前の印を押す

かき終ったら、ゴム印を押します。
 この絵手紙は、私がかきました。というシールシ。
 絵手紙は手紙であり、作品ではなめで
 切手を貼ってポストに入れますよう。

『さくら絵手紙クラブ』の先生の作品

バナナをかいてみたら…



タマネギをかいてみたら…



『さくら絵手紙クラブ』の皆様の作品



宮原公民館で絵手紙をかいてみたい方は下記までご連絡ください♪

【宮原公民館】
TEL・FAX
048-667-0621

